

気っ風のいい情報を発信

# KITA ISHIKARI PUBLICATION

# 1

JANUARY

2015 No.189



あけましておめでとうございます

[今年ひつじ年です]

 JA北いしかり | 広報誌

<http://www.ja-kitaishikari.or.jp>

# 「恭賀新年」

組合長理事

佐藤 彰



平成27年（2015年）の初春を、ご家族皆様のご健勝で迎えられましたことに、農協役員を代表しまして、心からのお祝いを申し上げます。

昨年は、数年ぶりにエルニーニョ現象に関する気象警報が発表され、不安を抱えた中での営農作業となりました。しかし、心配された天候は比較的順調に推移し、エルニーニョ警報も軌道修正され、夏には好天の日が続いて、早魃状況となりました。これにより、秋小麦に悪影響が

出てしまい、平年を下回る収量となりました。また、水稲が作況108の豊作と発表されながらも、青死米の多量発生により、製品量では作況100前後となりました。加えて、25年産米の在庫量が多いことや、米消費量の減少から、新米の概算金が一万円を切る異常事態となりました。その様な状況下では在りましたが、農協事業全般におきまして、組合員各位のご支援ご協力をいただきました事に、心より厚くお礼申し上げます。

明けました本年は、1月に昨年末の衆議院議員選挙後の通常国会が行われ、農協法の改正が協議されることとなっています。また、昨年からの協議が足踏み状態となっている、TPP協定が正念場を迎える事となります。此れへの対応次第によっては、安倍総理が掲げる「地方創生」ではなく、「地方遭難」と

# 謹賀新年

謹んで新年のご挨拶を申し上げます

組合長理事	佐藤 彰
代表理事専務	川村 義宏
常務理事	且見 英和
常務理事	小林 正美
当別地区特任理事	木屋路 喜代史
西当別地区特任理事	野尻 博康
厚田地区特任理事	加藤 博典
浜益地区特任理事	野村 賢一
理事	本多 寿典
理事	笹 賢一
理事	伊豆原 信一
理事	湯浅 秀樹
理事	清水 徳幸
理事	藤田 靖
理事	宮本 晃一
代表理事	小笠原 英史
常勤監事	藤澤 寛
常勤監事	伊藤 達也
監事	泉 吉満

なりかねません。これ以上の地方の衰退は、日本の国難であり、何としても解決していかねければならない重要な課題です。特に、地方においての農協は、総合事業の推進により、地域住民の生活をサポートし、地域の活性化に大きな役割を果たしています。これからも、地方行政と協力して、地方再興を進めることが農協の使命であり、このことから、農協法改正・TPP協定の協議は、重大な決意を持って注視していかねければなりません。組合員の皆さんの、農協運動への更なる結集を、よろしくお願い致します。

さて、私達は大晦日・元旦に地域の神社に参拝し、一年の感謝と新年への願いを祈願します。自然と共存し、自然の恵みで生かされている農業人として、神を崇拝する心は大切なものであり、いつまでも持ち続け

ていかなければなりません。自然界での人間の力は、無力です。そのことを、何度と無く思い知らされてきました。今年も、謙虚な農業人であり続けたいと思います。

「一年の計は元旦にあり」と、諺で言われますが、皆さんの新年に懸ける思いが無事に達成されますことと、ご家族皆様が多一年と成りますようお願い申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。



参事 河村重樹

金融共済部長 奥村勇二

営農振興部長 加来剛

生産販売部長 青山雅之

購買部長 荒関淳一

西当別支所長 浜尾和美

厚田支所長 長谷川司

北石狩農業協同組合青年部長 山崎雅啓

北石狩農業協同組合女性部長 他部員一同

久慈貞子

あけましておめでとうございます

本年も昨年と変わらぬご愛顧をよろしくお願い申し上げます

本所事務所美容室 店主 千葉一男

他職員一同

本所事務所理容室 店主 小池 暁

他職員一同

喪中につき年頭の挨拶を失礼いたします

監事 柴田昭英

扇谷泰典

他職員一同

## 新年を迎えて

北石狩農協青年部

部長 山崎 雅啓



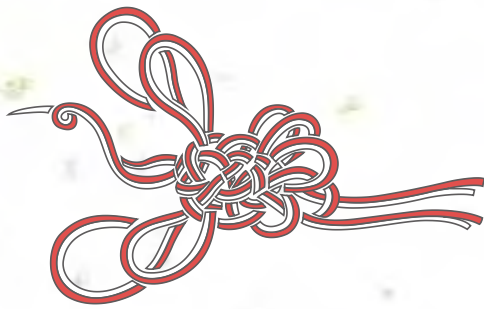
新年明けましておめでとございます。皆様におかれましては晴れやかな新年を迎えられたことを心よりお慶び申し上げます。また、昨年は当青年部の活動に対しまして組合員の皆様とご家族、役職員の方々にはご理解とご協力を頂きましたことを深くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと大雪による春作業の遅れや、長雨などにより営農が思うようにいかない状況が続きました。天候の回復により生育も取り戻し、一部の品目を除き、ほぼ平年並みの作柄になりました。国政においてもTPP交渉、農業政策の見直しなど大きな変化を迎えています。また、米価の下落により我々農業者にとっては先行きが不透明な状況が続いています。

このような中、我々青年部と致しましては、研修会、農業視察などで視野を広め、交流会では部員同士の親睦を深めることに努めてきました。部員同士の絆を強め、知恵を出し合い厳しい時代を乗り越えて行ける青年部にしていきたくと考えています。

最後になりますが、我々青年部は、生産者と消費者との繋がりをより強くし、「食」の大切さを伝え、消費者と共に農業を守っていきたくと考えています。

本年も組合員とご家族、そして役員の皆様にご指導ご協力のほどお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



## 新年を迎えて

北石狩農協女性部

部長 久慈 貞子



新年あけましておめでとございます。皆様におかれましては、ご家族で輝かしい新年を迎えられました事を、心よりお慶び申し上げます。

日頃より女性部活動に対しまして、組合員の皆様、ご家族、役員の方々のご理解とご協力を頂き、深くお礼申し上げます。

本年度の女性部活動も、部員の意欲的な活動の取り組みと研修会への参加、農業視察などで視野を広げ、又、部員交流会では、多数の部員が知恵を出し合い、笑顔で楽しい時間を共有することができました。

全国的に、部員の高齢化と部員減少が止まらず、将来的活動の不安を強く感じております。12月に、「女性部の生き残る道」をテーマとした、役員との懇談会をフリートークスタ

イルで実施致しました。役員の方々からのアドバイスを頂き、自らJA運動への積極的参加、女性大会で学んだ事を基軸とし、仲間づくり、住みよい地域社会づくりを目指してまいります。

昨今の農業情勢は、先行き不透明の中、農業者にとっては厳しい一年だったと思いますが、北石狩農協女性部としても、この様な時代こそ「心ひとつに、今をつむぎ次代へつなごう」を実践目標に、部員一同、健康で豊かな気持ちで活動したいと考えております。

本年も、組合員の皆様とご家族、役員の方々にご指導、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



## 平成27年の年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会

会長 飛田 稔章



組合員並びにJA役職員の皆様方には、ご健勝にて輝かしい新年を迎えられたものと心よりお慶び申し上げます。さて、昨年の北海道農業は、地域差・個人差があるものの、おおむね順調な作柄となりました。皆様方におかれましては、日々の営農と併せ、地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに対して、改めて敬意と感謝を申し上げる次第です。

平成26年は午年（うまどし）でありましたが、農業・JAをとりまく個々の情勢変化に加え、年末には、衆議院議員選挙が実施されるなど、まさに激動の一年でした。かかる情勢の中、我が国の農業をはじめ国民生活のさまざまな面に大きな影響を

及ぼしかねないTPP交渉に関しては、関係国の首脳・閣僚・交渉官等による各種会合並びに交渉が継続的に行われています。

昨年の11月10日に行われた関係国の首脳会合では、結果として大筋合意には至らず合意の目標時期も明示されませんでした。協定の早期妥結に向けた取組みをさらに進めていくことなどを確認し合った経過であり、今後とも予断を許さない情勢にあります。国のかたちを大きく変容させかねない重大な交渉であるにもかかわらず、依然として具体的な情報開示がなされておらず、国民不在のもとでの交渉に大きな不安と憤りを感じざるを得ません。

国会決議の順守とともに我が国の将来に禍根を残すことのないよう、今後とも政府・与党への強力な働きかけを行いつつ、国民世論の形成に向けた取組みを展開して参ります。

一方、政府は規制改革会議における答申を踏まえ、平成26年6月に「規制改革実施計画」を閣議決定し、農協系統組織に自己改革を求める内容を示しました。その後、JAグループ北海道として全道の組合員に参加いただいたうえで組織討議を

実施し、頂いたご意見・ご要望をもとに、「多様な価値観に応える北海道農業」・「時代に即した協同組合への改革」を柱とした「JAグループ北海道改革プラン（実行計画指針）」をとりまとめました。

今後、その内容を踏まえ、必要な環境整備に向け政府・与党に働きかけを行うとともに、組合員の皆様方と力を合わせJAグループとしての機能・役割をより一層発揮し、国民各層の理解醸成をはかりながら、改革プランにもとづく事業展開を積極的に推進してまいりたいと存じます。

世界規模での異常気象の発生、人口増加、新興国の経済情勢の変化などを背景に、国際的な食料の需給事情は不安定な要因を抱えており、先を見据えた中で、食料の安全保障をいかに確立していくかが問われています。自国の食料は可能な限り自国で賄うべきは、国家が存立していくうえで必要不可欠な取組みであります。我が国の農業の位置づけ・役割を再認識したうえで、農業の持続的発展をはかっていくという国としての基本姿勢のもとで、必要な政策展開に関係者の自助努力を精力的に

進めていくことが重要であります。

併せて、いまや農業は国民の理解と協力なくしては成り立たない産業であり、農業・JAの実態や取組み、農業・農村の多様な魅力を発信し、国民各層の理解醸成につなげていくことが肝要であります。やもすると、経済合理主義のもと、効率性や競争が豊かな暮らしの道しるべになるとの風潮がありますが、それぞれの地域や国の実情、多様な価値観を踏まえ、真に豊かな暮らしを追求し実現していく姿勢が今まさに必要ではないでしょうか。

今年の干支は未年（ひつじどし）です。群れをなす羊は家族の安泰を示し、いつまでも平和で暮らすことを意味します。改めて家族や農村社会の結びつきを大切にし、地域農業・地域社会の共存共栄を目指し、ともに頑張ろうではありませんか。

結びになります。本年が天候に恵まれ実り多い年となりますよう、併せて、北海道農業並びにJAグループ北海道の一層の発展を心よりご祈念申し上げます。新年にあたってのご挨拶といたします。

# 2014年も振り返って



当別給油所では、組合員・地域住民の皆様にも少しでも安価な燃料を供給するためセルフ事業に取り組み、6月28日にセルフ給油所としてリニューアルオープンしました。



7月18日、女性部本部は毎年の恒例行事である部員交流会を開催しました。部員66名が参加し、浜益地区の善盛園でさくらんぼ狩りとバーベキューを楽しみ親睦を深めました。



上当別麦ばら調製施設では、7月26日より小麦の受入がスタートしました。丹精込めて生産された小麦が9月上旬まで連日出荷されていました。



8月23日、当別駅前大通りにて「さん・産・フェスタ2014」が行われ大勢の人が訪れました。JAの販売ブースでは地産地消コーナーを設けて、小麦加工品のPRや当別産の豚肉と「北えがお」を使った豚丼の販売も行いました。



4月9日、本所大ホールで第15回通常総代会が開催され、議案は原案通りに全て可決されました。特別決議のTPP等国際貿易交渉から北海道を守り抜く決議についても、満場一致で承認されました。



平成26年の田植えは、各地区で5月20日頃からスタートしました。5月末にかけてピークを迎え、生産者の方々は豊穡の秋を願いながら作業をしていました。



青年部各地区では、小学生を対象とした食育活動として、農業体験学習を6月～12月まで行いました。内容は各地区で様々でしたが、子どもたちの一生懸命作業する姿が印象的でした。



10月5日、はなポッケでは収穫祭を開催しました。店舗前に試食コーナーを設けて、南瓜や馬鈴薯などをPRしました。店内では10人近くがレジに並ぶ場面もあり大いに賑わいました。



8月30日、西当別野菜集出荷施設にてひまわり収穫祭が開催されました。新鮮な野菜の販売コーナーや女性部の飲食コーナー、青年部緑日コーナー等にたくさんのお客さんが来場しました。



10月20日から22日にかけて、青年部では各地区に分かれて農業用廃プラスチックの回収を行いました。種類ごとに分別されたプラスチックは、後日回収業者に引き渡され、適正に処理が行われました。



稲刈りは9月上旬より各地区でスタートし、今年も品質の良いお米が収穫されました。さっぽろライスターミナルへの出荷は、9月12日よりスタートしました。



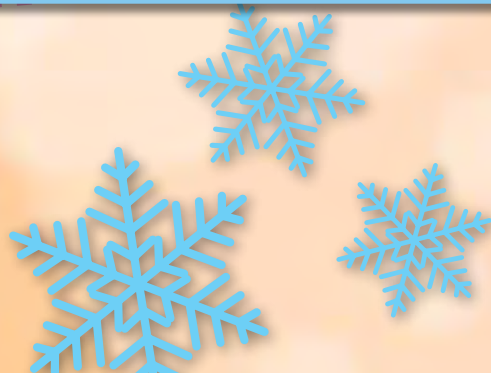
10月26日、当別花卉生産組合では、花をもっと身近なものと感じてもらおうと、当別町で栽培した花を使用したアレンジ講習会を開催しました。プロのデザイナーを講師に迎え、50名近くの方が参加しました。



9月末より営農振興部では、JA北いしかりオリジナル加工品や地場産野菜のPR販売を行いました。ラルズストア当別店、八紘学園農産物直売所、大通リビッセ、マックスバリュ八軒5条店で幅広くPRしました。



11月28日から12月4日にかけて、各地区で営農懇談会を開催しました。販売品の実績報告などJAからの説明の後、組合員からの質疑を受け付けました。





# JA北いしかり トピックス



## お米のPR販売行っ 〜YES!〜 Clean生産部会



札幌市マルコストアー本店にて

11月29日、北石狩YES! Clean生産部会は、札幌市北区篠路のマルコストアー本店で、YES! Clean米のPR販売を行いました。参加した5名の部員は「私たちが作った安全なお米です」等と元気にPRし、5kg袋で約200袋を売り上げました。試食用のお米も用意し、積極的にお客さんと会話をしていました。

また、同日に札幌市手稲区にあるキテネ食品館でも、同部員3名がPR販売を行い、こちらの会場でも大いにPRをしました。

## 子ども農業体験学習 〜青年部当別ブロック〜



出来上がった豆腐と記念撮影

12月2日、青年部当別ブロックは、当別小学校5年生を対象に今年4回目の農業体験学習を行いました。部員17名が参加し、子どもたちに豆腐作りを指導しました。

豆腐作りの他、別教室では大豆の栽培についての学習会も行いました。給食の時間には出来上がった豆腐を部員と子どもたちが一緒に食べ、1年間の農業体験学習を締めくくりました。豆腐の出来は、味、形ともに良く「おいしい」と何度もおかわりをする子どももいました。

## 子ども農業体験学習 〜青年部西当別地区〜



おにぎりを作る児童と見守る青年部員

12月9日、青年部西当別地区は、西当別小学校の3年生を対象に、今年3回目の農業体験学習を開催しました。

「おにぎり集会」と題した今回の体験学習では、部員15名が子どもたちとおにぎりを作り、一緒に味わいました。

集会に先立ち、子どもたちが自ら作成した「お米新聞」の発表会も行われました。部員は「いろいろな事を調べていて感心した。これからもお米に関心を持ち続けてほしい」と話し、子どもたちは元気に返事をしていました。

## 女性部と農協役員 との懇談会



フリースタイルの懇談会

12月5日、本所第一会議室にて女性部と農協役員との懇談会が開催されました。

懇談会は毎年恒例の行事となつていますが、今年は初めてフリースタイルスタイルで行い、久慈部長が取り進めました。「女性部の生き残る道」をトークテーマに、参加した12名の部員は、女性部活動に関して日頃感じている事などを大いに発言し、より良い女性部作りを目指して懇談を行いました。



青年部学習会開催



講習を聞く青年部員

12月2日、青年部本部は西当別支所会議室にて学習会を開催し、各ブロックより40名近くの部員が参加しました。  
 当JA大居主任技師を講師に迎え、平成26年の気象と生育経過、農薬の基本的な使い方や新規登録農薬等について学びました。  
 また、新たな農薬残留基準値の設定や秋まき小麦における緩効性肥料試験の結果についても学習し、次年度へ向けた準備を整えていました。

女性部活動紹介  
 ～当別ブロック・西当別ブロック～



当別ブロック 冬期講習



西当別ブロック しめ飾り作り

12月1日～2日、女性部西当別ブロックでは、毎年恒例のしめ飾り作りを行い、玄関おかめ・神棚などを作成しました。  
 また、12月8日には当別ブロックで冬期講習が行われ、料理講習やフラワーアレンジ作りを行いました。

新年を機に、

未来産業「農業」の  
 発展に向けて！

石狩農業改良普及センター  
 支所長 佐々木 徳雄



謹んで新年のお慶びを申し上げます。新しい年が農業を始め、地域全体が希望に満ちた年になりますようお祈り申し上げます。  
 昨年は、三年続きの豪雪でしたが、融雪は前年より5日早く、平年より5日遅い4月15日でした。近年の教訓を皆様が生かされ、農業被害は最小限に止めることができました。

その後の天候も好天が続き、畑のほ場乾燥が良く耕起作業や水稲移植、馬鈴薯・大豆等の植え付けも総じて順調でした。その後も高温・降水量不足で経過し、小麦では、特に起生期の追肥が効かず、茎数不足となりました。その後は、水稲の冷害危険期も順調に経過して、作況指数は昨年をしのぐ石狩108(全道107)となりました。しかし、腹白や青未熟等の品質不良での品質の問題や価格面の課題を残しました。

花きを中心とする園芸作物では、ハウス内の高温や乾燥が激しく、換気やかん水等の栽培管理に苦慮されました。やや草丈が短く、採花本数が少なく収量は減少しましたが、価格面で努力が報われた年でした。

総体的にみて、本州各生産地のような大きな台風等の災害や病害虫等の被害も少なく、米価など不満もありますが、作況としてはまずまずの年であったのではないかと考えている方が、多いものと考えます。  
 近年の異常気象時こそ、基本技術の励行が、重要になると考えます。

今後、10年後、30年後、50年後、100年後の後世に農業と言う産業を残していくため①小麦の連作障害回避(緑肥の導入・集中化管理孔導入による田畑輪換)②大豆狭畦栽培による省力化③水稲直播栽培による省力化及び徹底した高品質・良食味米生産などに、是非今から地域を挙げて取り組んでいきたいと思います。

まずは、本年の豊穣に向けて、春の融雪促進対策を始め、やるべきことをやり、悔いの残らないような一年にしたいものです。

普及センターもJAをはじめとする関係機関との連携強化を図り、地域の課題解決に向けて、微力ではありますが支援を推進してまいりますので、よろしくお願ひ申し上げます。

# 普及センター情報

石狩農業改良普及センター石狩北部支所  
TEL(0133)23-2146 FAX23-2887

## 平成26年度 主要野菜・花卉の生育出荷状況

### 総括

#### 1 野菜

- ・消雪日は4月15日と平年より5日遅かったが、育苗ハウスやほ場準備に影響は見られなかった。
- ・平均気温は4月2半旬から5半旬には低温傾向となったものの、4月6半旬から6月3半旬までは高温傾向で推移し、この時期の生育は順調に経過、しかし、6月2半旬から5半旬まで記録的な低温・日照不足が続き、生育の停滞を招いた。その後8月2半旬まで平年よりやや高温傾向で推移したため生育は回復し、順調に推移した。
- ・市況は7月末頃まで全国的に良好な気象となり、やや安価から平年並に推移した。しかし、その後本州方面を中心に、局所的な台風等による大雨・曇天といった急激な気象変動が発生したため一部の果菜類等で絶対量が不足し価格が高騰した。これに誘引され管内の野菜類の価格も、平年並みからやや高値傾向で推移した。

作物名 (主な品種)	作型	生育概況、障害、生産、出荷、品質、価格等
アスパラガス (ウエルカム、 ガインリム)	露地	5月上中旬の好天候から萌芽が早く、出荷始めは5月10日で共選は5月12日(昨年5月27日)に開始された。4月下旬の小雨による出荷量の低下が懸念されたが、6月上中旬の降雨で昨年より1割程度上回り、価格もやや高値で推移した。養成期間の生育は順調に経過し、9月上旬までは目立った病害虫の被害もなかったが、9月中旬からの周期的な降雨の影響で、茎枯れ病が発生、10月に入って斑点病が見られた。害虫の発生は期間を通して少なかった。
かぼちゃ (虹ロマン、えびす)	露地マルチ	トンネル早熟型は、今年度は融雪遅れの影響も無く、順調には種4月7日(昨年4月10日)、定植5月3日(昨年5月19日)作業が行われた。8月に入り、アブラムシ、うどんこ病の発生が見られたが大きな被害にはならなかった。共選開始は8月7日(昨年8月19日)終了10月10日。価格は平年並みで出荷量は1割程度少なく、小玉傾向であった。
キャベツ (藍宝、おきな、湖月)	露地	早期作型の育苗、定植は平年並みに行われ、定植後も好天により活着、初期生育順調に経過、球肥大も良好で7月上旬から出荷開始された。病害虫の発生では6月下旬からの高温気象でヨトウ、コナガ、アオムシの発生がやや多く、9月中旬からの周期的な降雨で菌核病が発生、また、遅い作型で結球のあまい物が見られた。総体の収量平年より多く、価格はやや低かった。
ブロッコリー (ピクセル、 スターラウンド、 おはよう)	露地	育苗、移植は平年並みに開始、生育は5月下旬から6月にかけて好天候により定植後の生育も順調で、出荷は昨年並みの7月上旬にスタート、6月下旬からヨトウガが発生、8月に一部のほ場で黒すす病が発生した。7月下旬、8月中旬からの周期的な降雨と、偏った天候により品質はやや低下、作付面積の増加により出荷量は昨年の2倍に増加し、最終的には品質、10a当たりの製品率は向上した。
にんじん (ベータ312、向陽2号)	春まき 及び 晩春播き	融雪遅れの影響も無く、は種作業4月26日(昨年5月19日)から開始され順調に進んだ。その後、少雨により、発芽が大幅に遅れ、生育差が目立った。一部ヤガ等の病害虫の被害が見られた。8月の降雨期に排水不良での裂根、連作畑での軟腐病やしみ腐れ病が多発した。共選開始は、8月7日(昨年8月22日)からスタート、規格はLM中心、共選作業は10月下旬に終了。収量は平年並であったが、後半は歩留まりが低く、価格はやや低い傾向で経過した。
スイートコーン(ハウス) (ララミー146、味来、 ピュアホワイト)	半促成	は種始めは昨年同様3月20日で、定植開始は4月25日(昨年4月27日)。初出荷は7月1日(昨年7月8日)。生育は順調で、アブラムシの発生がみられた。価格は高値で推移した。
メロン (ルピアレッド、113U)	無加温半促成、 抑制作型	定植開始は4月15日(昨年4月11日)。出荷は昨年並みの7月12日スタート、8月20日でお荷終了(昨年8月20日)。 サイズは5玉中心。糖度は平年より高め。目立った病害虫の発生は見られなかった。価格は平年並みからやや高値で推移。

## 2 花き

- ・消雪日は4月15日と平年より5日遅かったが、は種・定植作業に大きな遅れは見られなかった。
- ・平均気温は、4月6半旬から6月3半旬までは高温傾向で推移し、この間の生育はおおむね良好で経過した。6月2半旬から5半旬まで低温・日照不足により生育は停滞し、その後の急激な気温上昇によって、生理障害等が発生した品目も見られた。
- ・8月2半旬まで平年よりやや高温傾向で推移したため、生育が回復した品目も多かった。
- ・市況は7月末頃まで全国的に良好な気象となりやや安価から平年並に推移した。しかしその後本州方面を中心に、大型台風等による局所的な大雨、曇天といった急激な気象変動により、入荷量が減少したことから高値傾向で推移した。

作物名 (主な品種)	作 型	生育概況、障害、生産、出荷、品質、価格等
オリエンタルユリ (ソルボンヌ、シベリア、イエローウィン等)	越 年 (加温、無加温) 6～7月切り 5～8月定植 夏秋切り	<p>越年株の萌芽は品種作型により生育差はあったが、5月の高温により概ね順調に萌芽し、6月5日より越年株の出荷が開始された。6月中旬以降は長雨曇天により生育は緩慢となった。</p> <p>出荷ピークは7月20日頃に集中したが、天候の回復により採花期が集中し採花作業が間に合わない生産者も見られた。このため新株の定植作業が遅延傾向となり、平年より2日ほど遅い8月25日頃に終了した。</p> <p>10月以降は平年より気温が低めに推移し、一部で霜害も発生、また、日照量がやや少なかったことから採花の遅れが見られた。年間の出荷量は昨年よりやや増加、市況は高値傾向で推移した。</p> <p>生理障害や病害虫の発生は、5～6月に「まだら症」の発生が見られたが、その他で目立った発生は見られなかった。</p>
デルフィニウム (パルフェ、オーロラ系、ボルクレイド、ワルツ系品種、シネンシス系)	越 年 (加温、無加温) 6～7月切り 5～8月定植 夏秋切り	<p>越年作型の出荷は5月上旬(昨年4月22日)から開始された。定植株は、6月中旬以降が長雨曇天であったが、定植後の生育は順調だった。しかし、その後の高温により花上がりが一気に進み、7月上旬から春定植のものが出荷され、同時期に越年株の2番花が出荷された。7月下旬には予冷育苗の苗定植が開始されている。9月に入ると出荷量は少なくなった。年間の採花本数は例年より少なめであった。</p> <p>生理障害や病害虫の発生は見られなかった。</p>
宿根かすみそう (Wフェアリー、スノークイーン、雪ん子系等)	越年株 春夏切り 新 苗 夏秋切り	<p>例年並みの4月下旬より越年作型の出荷が始まった。6月中旬の長雨曇天により生育は一時停滞したが下旬には回復し、新株の定植作業も順調に行われた。出荷量は7月上旬から15日頃までがピークとなり、9月の出荷は少ない傾向で経過、10月には気温の低下によりさらに出荷量は減少し、例年よりやや早く11月初旬で終了した。総体の出荷本数は例年よりやや少なかった。</p> <p>生理障害や病害虫の発生状況は、6～8月にハモグリバ工類、6月には停滞水・多かん水による根腐れ、9月にはアザミウマ類の発生が一部のほ場で見られた。</p>
トルコギキョウ (エクローサ系、キング系等八重系品種)	5月定植 8～9月切り	<p>定植作業は例年並みの5月上旬～6月まで行われ、その後の活着・生育ともに順調に推移。9月の出荷量は少ない状況であったが、10月には昨年並みに回復、総体的な出荷量は例年より少なかった。</p> <p>生理障害や病害虫の発生は、6～7月の定植後にヤガ類やハモグリバ工類、7～8月には曇天後の急激な晴天による葉先枯れ(チップバーン)、10月には鱗翅目類の幼虫の発生が一部のほ場で見られた。</p>
カラー (クリスタルブラッシュブラックマジック等)	春～初夏 定植	<p>定植作業は例年並みの4月上旬より開始され7月26日に終了し、出荷は6月15日より開始され、出荷日量は8月上旬にピークを迎えたが、9月には減少した。10月は連作と夏場の高温等が原因で出荷量が非常に少なくなり、市場出荷を中止し注文対応とした。生理障害や病害虫の発生は見られなかった。</p>

# クロスワードパズル

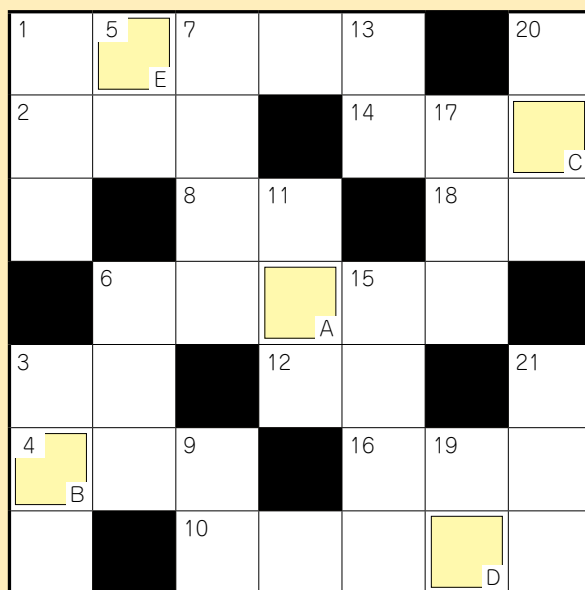
二重マスの文字を  
A～Eの順に並べてできる  
言葉はなんでしょうか？

## タテのカギ

- 1 ……最低気温が0度未満の日
- 3 ……武士の命ともいわれた刃物
- 5 ……応用に移る前にしっかりと
- 6 ……全身真っ黒な鳥
- 7 ……中央競馬を監督するのは——水産省
- 9 ……西を向いたときの右手の方向
- 11 ……ぺこりとへこんだ所
- 13 ……ホルスタイン、ジャージーといえば
- 15 ……趣味と——を兼ねた仕事
- 17 ……応接室に似合う長いす
- 19 ……けがが完全に——した
- 20 ……タイヤに穴が開いちゃった
- 21 ……大金持ちのこと アラブの大——

## ヨコのカギ

- 1 ……早春に顔を出すフキの花茎
- 2 ……車などで人や物を運ぶこと
- 3 ……ピスタチオを食べるときむきます
- 4 ……駅伝の選手がつなぐもの
- 6 ……東南アジアの国 首都はプノンペン
- 8 ……地球表面のおよそ3割を占めます
- 10 ……ピンポンともいうスポーツ
- 12 ……花を回ってチョウが吸う物
- 14 ……子芋がたくさん付くことから、サトイモは——繁栄の縁起物です
- 16 ……旧国名の一つ ここと佐渡が現在の新潟県です
- 18 ……鬼は外、——は内



## 12月号の答え

A オ B ト C シ D ダ E マ

発刊の関係上、  
当選者の発表は2月号で  
行わせて頂きます。



郵便はがき  
〒061-0295  
52  
JA 石狩郡当別町  
北いしかり 錦町53番地57  
企画管理課行

- ①パズルのこたえ
- ②〒・住所
- ③氏名
- ④年齢
- ⑤意見や要望、身近にあった出来事などの情報をお寄せ下さい。紹介させていただきます。

### 【応募方法】

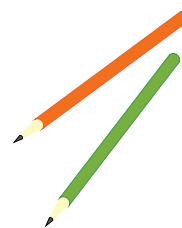
- 氏名や住所を伏せたい場合は、その旨ご記入願います。
  - ファックス・Eメールによる応募も受付いたします。
- FAX : (0133)22-2615  
Eメールアドレス : [kanri03@ja-kitaishikari.or.jp](mailto:kanri03@ja-kitaishikari.or.jp)

### 【締切日】

平成27年1月26日(月)到着分まで

### 【賞品】

正解者の中から抽選で5名の方へJA全国共通商品券(1,000円)をさしあげます。



高等学校・大学・短大・専門学校生大歓迎 JAグループ職員養成学校

# JAカレッジ

- 60名 ●1カ年、全寮制 ●24歳未満
- 大学、短大・専門学校卒(見込)、高校卒(見込)
- 試験日: 2月14日・15日 ●願書受付: 1月9日～2月2日 ●学校見学もできます

男女共学

JAへ就職

お問い合わせ  
資料請求

一般財団法人  
北海道農業協同組合学校

〒069-0834 江別市文京台東町43-1  
(JAカレッジ) ☎ 0120-918-417  
JAカレッジ 検索

## 理事会報告

### 〈第12回理事会〉

12月12日午後2時30分より、本所 第一会議室で開催されました。

### 監事監査報告(第3四半期定期監査)

#### 議事

議案第1号 「全国監査機構 期中監査」結果について  
議案第2号 「役員推薦会議運営要領」の一部改正について

議案第3号 役員推薦会議の設置について

議案第4号 役員推薦委員の選出について

議案第5号 平成26年産 米の品質低下に対する資金対策について

議案第6号 農地保有合理化促進事業参加申込みについて

議案第7号 組合員出資持分譲渡および減口について  
議案第8号 年末手当の支給について

#### 報告事項

- (1) 各事業報告及び財務報告並びに仮決算報告(平成26年11月末)
- (2) 内部監査結果報告
- (3) 貸出金延滞債権の遅延損害金一部減免について
- (4) 組合員の加入・脱退について

## 組合員資格確認のお願い

当JA定款規程により、組合員加入申込時の提出書類記載事項に変更があった場合や、組合員資格に変動等があった場合は、その旨を届けていただくことになっています。

つきましては、組合員資格・氏名・住所・電話番号等の届出事項に変更・修正があった場合は、当JA本所・企画管理課、または各支所・管理金融課および事業所へお申し出いただきますようお願い致します。

### 当組合員の組合員資格

#### ●正組合員資格●

- (1) 30アール以上の土地を耕作する農業を営む個人であって、その住所又はその経営に係る土地がこの組合の地区内にあるもの
- (2) 1年のうち120日以上農業に従事する個人であって、その住所又はその従事する農業に係る土地がこの組合の地区内にあるもの
- (3) 農業を営む法人(その常時使用する従業員の数が300人を超え、かつ、その資本の額又は出資の総額が3億円を超える法人を除く。)であって、その事務所又はその経営に係る土地がこの組合の地区内にあるもの

#### ●准組合員資格●

- (1) この組合の地区内に住所を有する個人でこの組合の事業を利用することが適当と認められるもの
- (2) この組合から事業に係る物資の供給又は役務の提供を継続して受けているこの組合の地区内に勤務地を有する個人であって、引き続きこの組合の事業を利用することが適当であると認められるもの
- (3) この組合から事業に係る物資の供給又は役務の提供を継続して受けているこの組合の地区外に住所を有する個人であって、引き続きこの組合の事業を利用することが適当であると認められるもの

※当組合の地区は、札幌市、石狩郡当別町、石狩市厚田区及び、浜益区の区域です。

# なんでも掲示板

■年末に向けて大掃除を頑張っています。普段掃除しない部分もピカピカになってとても気持ち良い。今回の大掃除では重曹の効果に驚きました。  
(ペンネーム ポコポコさん)

■12月もう10日。当別も一生懸命降り始めました。クリスマスの飾り付、始めはツリーとサンタだけ、少しずつエスカレート。今では1F、2F、東、南窓にバルコニー。イルミ、手作りリース、折り紙などの飾り付けに、ポチポチ3日でやっと終わる。少しでも通る方、見て下さる方が和やかになればと思い始めて15年位。後何年出来るかな～。来る年がよい年であります様に。  
(当別町 望月 康子さん)

■クロスワードをいつも楽しみにしております。頭の体操にとってもいいです。  
(当別町 加来 照子さん)

■東京に住む娘と1才の孫が当別に…孫は初めて見る雪にドキドキ今年は寒さに震えていましたが、来年は雪だるま一緒に作りたいなあー！！  
(ペンネーム ぐう～まさん)

■年と共に一年早く感じますね。師走も中旬なにかと忙しくなりました。みなさん良いお年を。  
(ペンネーム シングルババさん)

■年賀状も書かないと駄目だし、大掃除もしないと駄目だし、やる事いっぱい有るのに何だか体が動かないのです。始めると一気にするんだけど、気分入れ替えて…やるかな～ア。気合入れて～ガンバルゾー！  
(石狩市 永澤 節子さん)

■寒い日が続きますね。こう寒いと寝る時、手足が冷えて中々寝付けません。湯たんぼは、欠かせませんね！ヤケドしないように気をつけて温まります！  
(ペンネーム モコモコくつしたさん)

■冬は寒いので、つつい家の中にこもりがちですが、大嫌いな雪を味方にして、雪かきを楽しんでやって、良い運動をします！皆さんも、ポジティブに！！  
(ペンネーム 雪やこんこさん)

■雪が積もる前にと早めに田舎の父の元へ帰省しました。

韓国歴史ドラマにハマっている父と一緒に見ていると、途中で眠ってしまう父。年老いたのか？いやいや、私が年をとり、異常に父の体調を気にするようになってきました。  
(ペンネーム 匿名希望さん)

■早いもので暮となり何も考えてない内に1年が終わる。毎日何となく過ごしている感じで、長い時間をかけて新聞をすみずみまで読んで、1ヶ月に1回のクロスワードパズルを楽しみに待っています。頭を使ってやっと書いている言葉が、なかなか出てこないのだから出来るまで考える。頭の体操と思いこれからも続けます。  
(石狩市 岸本 光子さん)

■いよいよ来ましたネ、年の瀬。皆忙しいけど体に気を付けて良い年を迎えましょう！！  
(当別町 佐々木 ミヨ子さん)

ここに寄せられたお便りの住所・氏名・年齢などの個人情報、この広報誌以外で使用することはありません。また、発刊の関係上12月22日到着分までの掲載となっております。それ以降に受け付けたものは、2月号でご紹介させていただきます。

JA配置薬からのお知らせ

飲まなければならない今夜と…  
働く明日のために

牡蠣、ウコン、しじみが貴方の健康を応援します

現代人に不足しがちなミネラルを凝縮



商品のお求め・お問い合わせは下記のJA配置薬推進員まで  
当別・厚田・浜益地区 担当 荒井恵美子  
西当別地区 担当 平松美恵子

60粒 1,728円(税込) 1日2~4粒を目安にお飲み下さい。

# 事故にあった！ 故障して動かない！！

こちらに  
お電話ください！

24時間 365日 事故受付とアドバイス

事故等の場合には

JA 共済  
事故受付  
センター

0120-258-931

レッカー移動や故障時の応急対応が必要な場合には

JA 共済  
サポート  
センター

0120-063-931



## レッカーサービス

現場から30km以内のけん引が**無料！**

外出先での事故または故障により自力走行不能となった場合に、レッカー車で現場へ急行し、最寄りの修理工場等までお車をけん引します。



※トラブルの状況や手配内容によっては、お客さまに費用のご負担が発生する場合があります。

※本資料は「レッカーサービス」および「ロードサービス」に関するすべての内容を記載しているものではありません。サービスのご利用条件・提供範囲等、詳細については「ご契約のしおり・約款」等をご参照ください。

※事前にJAまたはJA共済事故受付センターに要請された場合に本サービスの対象となります。  
(ご自身で手配された場合は本サービスの対象外となります)

## ロードサービス

30分程度で対応可能な応急対応が**無料！**

外出先での故障・ガス欠等により自力走行不能となった場合に、修理業者が現場へ急行し、お車の応急修理を行います。



※応急修理に伴う費用(基本料金・出勤料金・作業料金等)はお客さまのご負担となります。

## 夜間休日 現場急行サービス

JAの営業時間外にJA共済事故受付センター(フリーダイヤル)へご連絡いただいた事故について、対応員が事故現場に急行し、事故状況の聞き取りなどを行います。



※本サービス受付時間は、平日:17時~23時、土日祝日:8時~23時です。

※事故現場からお電話いただき、お客さまが現場急行をご希望された事故が対象となります。

※原則として、対応員の出勤拠点から事故現場まで30分程度で到着できることが条件となります。ただし高速道路上等一部の場所は本サービスの対象外となります。

※JA共済より業務委託を受けた民間警備保障会社の対応員が急行します。

## 夜間休日 初期対応サービス

JAの営業時間外にJA共済事故受付センター(フリーダイヤル)へご連絡いただいた事故について、初期対応専任のスタッフがお客さまからの相談対応や相手方への迅速な対応(事故受付の連絡・修理工場への連絡・代車の手配等)を行います。

※本サービスの受付時間は、平日:17時~21時(対応は22時まで)、土日祝日:9時~21時(対応は22時まで)です。

※対人賠償事故(人身傷害事故含む)、対物賠償事故、車両諸費用保障特約の付いた車両単独事故が対象となります。

## 休日 契約者面談サービス

JAの営業時間外にJA共済事故受付センター(フリーダイヤル)へご連絡いただいた事故について、休日面談専任のスタッフがお客さまを訪問し、事故に関するご質問・ご相談に親身におこたえします。

※本サービスの受付時間は、金曜・祝前日:17時~0時、土曜・終日、日曜・祝日:0時~17時です。

※対人賠償事故で、事故の相手方が入院または死亡された場合が対象となります。

※JA共済より、業務委託を受けた休日面談専任のスタッフが対応します。

# 「北いしかりを、もっと食べよう。」

## JA北いしかり特産品商品一覧

### 北えがお

ゆめぴりか (5kg)  
2,300円 (税込)  
ななつぼし (5kg)  
1,700円 (税込)



### 父ちゃんもう一俵

YES!clean米  
ななつぼし (5kg)  
1,850円 (税込)



### レンジでかんたん! ラーメン

鶏だし醤油・みそ  
しお・甘えび塩  
各190円 (税込)



### 生そうめん

1袋 (160g)  
170円 (税込)



### 生うどん

細麺・太麺  
1袋 (170g)  
各170円 (税込)



### 乾麺うどん

1袋 (180g)  
210円 (税込)



### 生パスタ

1袋 (120g)  
160円 (税込)



### 乾麺パスタ

1袋 (200g)  
260円 (税込)



### 畑のおくりもの

にんじん  
ミックスジュース  
1缶 (190g)  
150円 (税込)



### 黒豚カレー

甘口・中辛  
370円 (税込)



### 薄力小麦粉・ 強力小麦粉

きたほなみ (1kg)  
410円 (税込)  
ゆめちから (1kg)  
510円 (税込)



JA北いしかり特産品お取り扱い店舗

・JA北いしかり本所・西当別支所・Aコープ厚田店  
・ふれあい倉庫・FIKA・つじの蔵

JA北いしかり 本所 ☎ 0133-23-2534  
西当別支所 ☎ 0133-26-2111  
Aコープ厚田店 ☎ 0133-78-2021